

- 問1 南にインド洋、北にヒマラヤ山脈が位置するバングラデシュ周辺の地形的条件が、この地域の降水量にどのような影響を与えているか、その背景を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
1. インド洋を流れる寒流の影響で大気が安定しており、上昇気流が起こりにくいため乾燥した気候となっている。
 2. インド洋から吹き込む湿った季節風がヒマラヤ山脈に遮られて上昇することで、大量の雨をもたらしている。
 3. ヒマラヤ山脈から吹き下ろす乾燥した冷たい風が雲の発達を妨げるため、年間を通じて降水量が抑制されている。
 4. 周囲を高い山脈に囲まれた盆地であるため、外からの湿った空気が入り込まず、森林が育たないほど乾燥している。
- 問2 江戸時代の日本が、長崎の出島を通じて貿易を行っていたヨーロッパの国は、現在の東南アジアにある特定の国を植民地として支配していました。そのオランダの植民地支配を受けていた歴史を持ち、現在は東南アジアで最も人口が多い国はどこですか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. ベトナム
 2. タイ
 3. インドネシア
 4. フィリピン
- 問3 1970年代以降、輸出指向型の工業化政策をとることで急速な経済成長を成し遂げた、韓国、台湾、香港、シンガポールの4つの国や地域を総称して何と呼びますか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
1. ASEAN (東南アジア諸国連合)
 2. EC (欧州共同体)
 3. BRICS
 4. NIES (新興工業経済地域)
- 問4 西アジアに位置するサウジアラビアでは、1970年から2015年の間に乳幼児死亡率が約10分の1に激減し、1人あたりの国内総生産も約2万ドル前後の高い水準に達しています。このような急速な社会開発を可能にした、この国の経済的・制度的背景として最も適切なものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 資源の枯渇に備えて、石油依存を脱却するために医療サービスを完全有料化し、その収益を先端技術の開発に充てたこと
 2. 近隣のアフリカ諸国や南アメリカ諸国と経済同盟を結び、安価な労働力と医療品を確保したこと
 3. 国際連合からの大規模な経済援助を受け、伝統的な農業社会から最新の工業社会へと急激に転換したこと
 4. 石油輸出国機構 (OPEC) への加盟による豊富な石油資源の収益を背景に、公的医療を原則無償化したこと
- 問5 中国では1970年代後半から、海外の資本や技術を導入して経済を活性化させる「改革・開放政策」がとられました。この政策の展開と、その結果生じた国内の状況について説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. タイやマレーシアと同様に、政府が内陸部への外国企業誘致を優先したため、沿岸部よりも内陸部の所得水準が高くなった。
 2. 韓国やシンガポールとともに「アジアニーズ (NIES)」として全土で一斉に工業化したため、特定の地域に偏らない経済発展を実現した。
 3. 経済特区が設置された沿岸部で急速に工業化が進んだ一方、開発の遅れた内陸部との間で大きな経済格差が生じ、社会問題となった。
 4. バンガロールなどの内陸都市を中心にIT産業が急成長したことで、沿岸部の伝統的な工業地帯との格差がほぼ解消された。
- 問6 マレーシアにおける産業別の就業者人口の割合について、一九九五年から二〇二一年にかけての変化を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。一九九五年には約二十パーセントあった第一次産業の割合が二〇二一年には十パーセント未満に減少したという統計資料に基づき、答えなさい。 (2025年 山口県公立入試 類似)
1. 重化学工業化が進んだ結果、製造業などの第二次産業が就業者全体の八割を超えた。
 2. 第一次産業の割合が低下し、サービス業を中心とする第三次産業の割合が拡大した。
 3. 経済発展が停滞したため、すべての産業において就業者人口の割合に変化は見られなかった。
 4. 第二次産業の割合が大幅に低下し、農林水産業である第一次産業へ回帰した。
- 問7 人口約3200万人を抱えるある国において、穀物自給率が約11パーセント、1人あたり国民総所得が約2万ドルという統計が見られます。この国の気候および社会経済的特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. 季節風の影響で降水量が多く農業が盛んであり、穀物自給率は非常に高い
 2. 冷帯に位置し冬の寒さが厳しいため、工業化が進まず所得水準は低い
 3. 地中海性気候を活かした果樹栽培が盛んで、農産物の輸出が経済を支えている
 4. 砂漠気候が広がり農業には不向きだが、石油資源によって高い所得を得ている
- 問8 中国南部の沿岸部に位置し、かつては小さな漁村であったものの、1980年に特定の経済政策が適用される地域に指定されたことで、現在は世界有数のハイテク産業が集積する大都市へと急成長した都市として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. ウルムチ
 2. ラサ
 3. シェンチェン (深圳)
 4. ベキン (北京)
- 問9 2012年時点の統計において、インド国内で生産された約117万台の自動車のうち、8割以上がインド国内で販売されており、輸出に回される割合は2割未満にとどまっています。この状況から読み取れる、インドにおける自動車産業の特徴として正しいものはどれですか。 (2018年 広島県公立入試 類似)
1. 技術力が不足しているため、国内で生産された自動車は輸出には適していない
 2. 国内販売よりも、欧米諸国への輸出を最優先した生産体制が構築されている
 3. 関税を高く設定することで、インド国内での自動車購入を制限する政策がとられている
 4. インドの巨大な人口を背景とした国内需要に応えるための、現地生産が主流となっている
- 問10 近年、中国や韓国、日本といったアジア諸国において、高齢化が急速に進行している背景や、その社会的な影響について述べたものとして、正しい説明はどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. アジア諸国では伝統的に大家族制が維持されているため、高齢化が進んでも社会保障制度の整備を急ぐ必要はない。
 2. 欧米諸国に比べて労働力人口が過剰であるため、急速な高齢化による経済へのマイナスの影響は全く懸念されていない。
 3. アジア州全体で合計特殊出生率が急上昇しており、将来的には高齢化率がヨーロッパ諸国よりも大幅に低くなることが予測されている。
 4. 経済発展に伴う生活水準の向上や医療の普及により平均寿命が延び、同時に出生率が低下したことで、短時間で社会構造が変化している。
- 問11 中国では1970年代から人口爆発を抑制するために「一人っ子政策」が実施されましたが、その後の統計において出生率が長期的に下降し続け、現在は非常に低い水準となっています。この状況が中国の将来に及ぼす、最も深刻な社会的問題として適切なものはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
1. 少子高齢化による労働力不足
 2. 平均寿命の短縮化
 3. 都市人口の過度な集中
 4. 死亡率の上昇による人口急減
- 問12 ベトナムやインドネシアといった国々とシンガポールを比較した統計において、日本企業の進出数と現地の経済状況の関係性を説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. シンガポールのように平均賃金が高い国では、低賃金の国に比べて工場などの進出数が急増している
 2. 平均賃金が高い国ほど、安価な労働力を求める日本の製造業の進出が活発になる傾向がある
 3. 日本企業の進出数は、現地の平均賃金の高さに関わらず天然資源の産出量のみで決定される
 4. 平均賃金が高い国ほど、生産コストの削減を目的とする日本の製造業が進出しやすい傾向がある